

3月もっとメッセージ

本市の特色ある教育施策で成果が生まれています

3月になりました。これからだんだんと暖かくなり、春の訪れを感じられることが多くなる季節です。菜の花は見頃を迎え、桜の開花も待ち遠しいです。

進学する学生の皆さまや新社会人となる皆さまなど、大きな期待と希望を胸に準備を進めていることと思います。卒園式や卒業式、人事異動など、年度末は何かと気忙しい時期ですので、体調管理には十分留意し、新しい生活を気持ちよく迎えらえるようにしてください。



調べる学習コンクールの受賞者の皆さんに
表彰式の様子や作品について伺う市長

さて、先般、「第22回図書館を使った調べる学習コンクール（全国）」が開催され、本市から出展した2作品が全国第一席に相当する「文部科学大臣賞」に選ばれました。

また、各部門で計5作品が優秀賞に選ばれ、優秀賞以上の上位入賞数は、袖ヶ浦市が19年連続で「全国一」となりました。

図書館を使った調べる学習コンクールは、子どもも大人もすべての人が図書館を活用し、体験や創作などと結び付いた実践的研究に取り組み、その成果を広く普及するため、公益財団法人図書館振興財団の主催で実施されているものです。文部科学省をはじめ、総務省や環境省などが後援し、平成9年から開催されている実績のあるコンクールです。

今回のコンクールでは、全国から107,707作品と多数の応募があったにもかかわらず、本市の2作品が見事、文部科学大臣賞に選ばれ、そして19年連続で上位入賞数全国一を果たしたことは、大変素晴らしく誇らしいことです。入賞された児童・生徒たちの努力がかたちとなったことを嬉しく思います。

このようなコンクールで本市の多くの児童・生徒が毎年好成績を残すなど、素晴らしい成果が表れている背景には、本市の特色ある教育施策があります。

本市では、読書教育を教育の重点施策として位置づけ、ひとりでも多くの本好きな子どもを育てること、子どもたちが自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てています。

ソフト面の施策としては、読書指導員の配置や学校図書館支援センターを設置しています。

読書指導員は、本好きな子どもを育てることや人のいる温かい学校図書館をつくることを目的として、各小中学校へ1名ずつ配置しています。学校図書館の活用促進と児童・生徒への読書指導の充実を図るとともに、「調べ学習」への対応も読書指導員が積極的に行っており、本市の読書教育になくてはならない存在となっています。

学校図書館支援センターは、市立総合教育センター内に設置し、2名の専門スタッフが学校図書館を取り巻く「人」「もの」「情報」のコーディネートを行っています。各校の読書指導員や司書教諭と連携を図り、授業支援や児童・生徒の読書活動の向上に向け

た相談を行っています。教員や読書指導員を支援するとともに、学校図書館が「読書センター」「学習・情報センター」として、学習活動の核となるように、取り組んでいます。

ハード面の施策としては、図書館や図書流通システム、学校図書館の学習・情報センター機能などがあります。

市内では、3つの図書館と2つの公民館図書室をネットワーク化し、学校図書館や関係機関、ボランティアの方々と連携しながら、年齢問わず親しむことができ、郷土資料から最新の情報まで広く活用できる読書環境を整えています。

また、図書流通システムを構築し、公共図書館と学校図書館、郷土博物館、総合教育センターを運搬で結ぶことにより、図書や学習教材、映像教材、文献資料などを相互貸借できるよう循環しています。リアルタイムで各学校が必要としている本の種類や冊数の情報を共有できるようにしており、きめ細やかな授業支援を実現しています。

さらに、市内小中学校すべての学校図書館には、パソコンやコピー機、FAXなどの機器を整備しており、蔵書は貸出や返却、検索などをすべてコンピュータで管理するなど、学校図書館の学習・情報センター機能を高めています。子どもたちは日常的に学校図書館を活用した調べ学習に取り組める環境となっています。

その他の取組みとして、本市においては、図書館を使った調べる学習コンクール（全国）の前段として、平成12年度より本市の独自の地域コンクール「袖ヶ浦市図書館を使った調べる学習コンクール」を実施し、調べ学習の成果を顕彰しています。

今日的な学力の一つである探究型の学力は、「自ら問題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身につけたり、学び方やものの考え方を身につけ、主体的に学んでいく児童・生徒を育てること」をねらいとしています。そのための方策として注目されているのが「調べ学習」という学習形態で、本市のすべての小中学校が積極的に参加しています。

今年度は、小学校2,927作品、中学校1,309作品、合計4,236作品の応募があり、参加率は85.1%で過去最高となりました。

そして、図書館を使った調べ学習の成果を顕彰することにより、児童・生徒の調べ学習に対する意欲を高めるとともに、探求型の学力を育む支援を図っています。

このように、読書教育における様々な施策が、児童・生徒の取組みを推進し、素晴らしい成果を生んでいます。

今回の図書館を使った調べる学習コンクール（全国）では、本市の長年の読書教育への取組の成果が認められ、袖ヶ浦市教育委員会が「図書館を使った調べる学習活動賞」を受賞することもできました。

今後も、読書教育とともに、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育成するため、子どもが主体的に学び、探究型の学力の育成を図るために「調べ学習」に積極的に取り組んでまいります。

平成31年3月1日
袖ヶ浦市長 出口 清